

令和4年(2022年)9月16日(金)

<照会先>

①インフルエンザ発生状況に関すること

札幌市保健福祉局保健所感染症総合対策課

担当：葛岡、川西 (Tel: 6 2 2 - 5 1 9 9)

②下水サーベイランスに関すること

札幌市下水道河川局事業推進部処理施設課

担当：渡邊、高橋 (Tel: 8 1 8 - 3 4 3 1)

報道機関各社 様

札幌市内におけるインフルエンザ患者からの A香港型インフルエンザウイルスの検出について

札幌市では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）第14条に基づく発生動向調査の一環として、ウイルスサーベイランス*を実施しております。

このたび、札幌市衛生研究所において、本年、札幌市で初分離となるA香港型インフルエンザウイルスを検出しましたのでお知らせします。（過去2年間は無分離なし）

また、札幌市では上記サーベイランスに加えて下水サーベイランスを実施しております。下水の分析を委託している北海道大学大学院工学研究院の北島正章准教授から、同時期に採取した下水を調査したところ、過去の流行期と比べて低い濃度ながらA型インフルエンザウイルス遺伝子が検出されたとの情報提供がありました。

札幌市内の定点医療機関56か所における患者報告数は、第35週（8月29日～9月4日）が1定点医療機関当たり0.04人/週、36週（9月5日～11日）が0.09人/週と**増加傾向**となっており、**今後のインフルエンザ流行に注意が必要です。**

* 感染症の発生動向を把握するため、14の協力医療機関から提供された病原体検体を検査しています。

1 ウイルス検出の概要

	患者①
居住地	札幌市
年齢	10歳
性別	女
発病日	9月4日
検体	咽頭ぬぐい液
検体採取日	9月5日
臨床症状	発熱 (37.9℃)

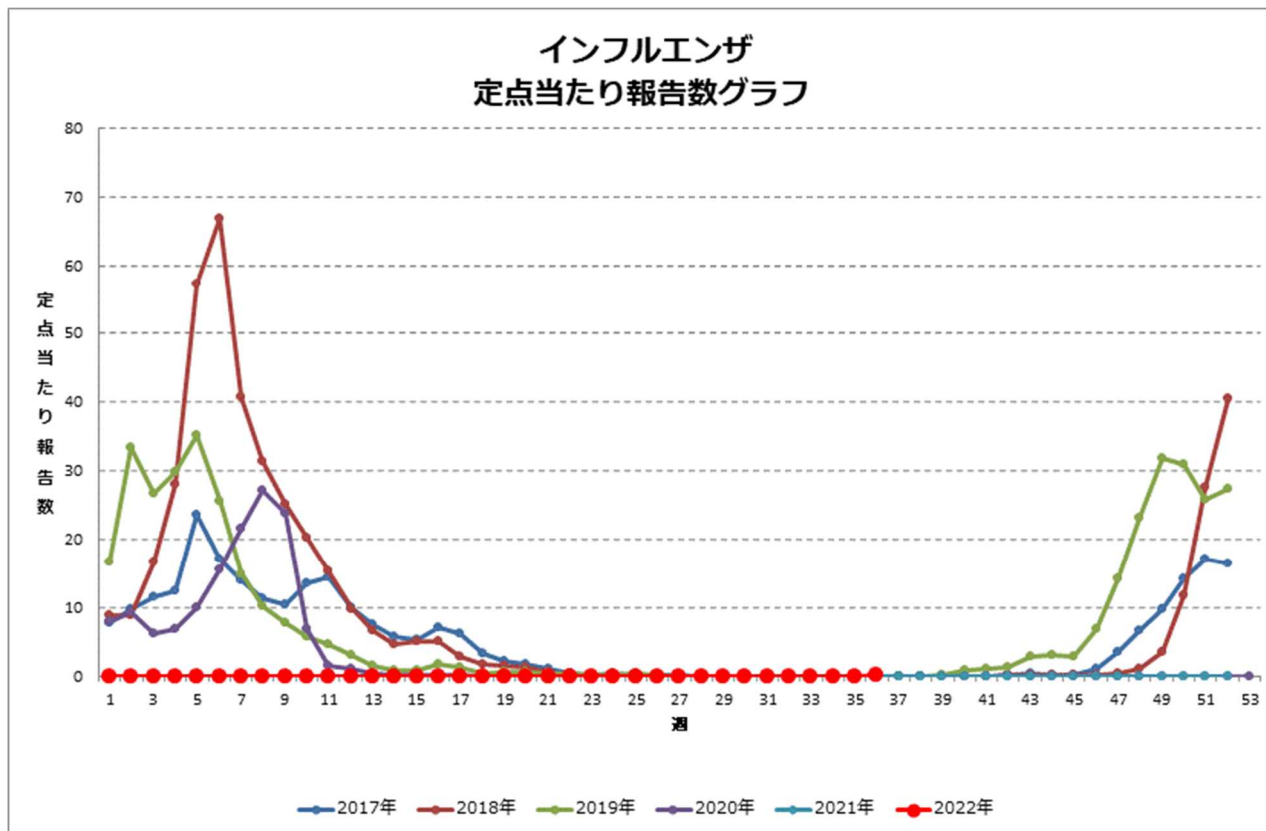
2 全国の状況

国立感染症研究所の公表によりますと、本年は第29週（7月18日～24日）から33週（8月15日～21日）に、沖縄県を中心に報告されています。

<裏面に続きます。>

3 札幌市におけるインフルエンザの発生状況

第36週（9月5日～11日）に5例の報告【定点報告数※：0.09】



※札幌市衛生研究所 HP「札幌市における主な感染症の発生動向」より参照

4 インフルエンザの感染拡大を防ぐための対策について

- (1) 外出から帰ったら必ず手洗い等をしましょう。
- (2) できるだけ人ごみは避けるようにしましょう。
- (3) 十分な栄養と睡眠を心がけましょう。
- (4) インフルエンザにかかったと思ったら速やかに医療機関を受診しましょう。
- (5) 人にうつさないためにも、インフルエンザ様症状（発熱、咳等）が出た場合は、マスクの着用や咳エチケットを徹底しましょう。
- (6) インフルエンザワクチンは重症化予防に有効です。なお、定期接種である高齢者インフルエンザワクチンは10月1日から開始しますので、接種についてご検討ください。

5 下水サーベイランスについて

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの感染者は症状の有無にかかわらず、糞便や唾液中にウイルス RNA を排出することが知られております。この特性を利用した下水サーベイランスは、感染者の受診行動や検査数等の影響を受けることなく、無症状感染者を含めた感染状況を反映する客観的指標としての活用が期待されています。

札幌市では、市中の感染状況を把握し、感染症対策への活用可能性について検討を行うことを目的として、北海道大学と相互に協力しながら、新型コロナウイルスの下水サーベイランスを継続的に実施しており、今後、インフルエンザウイルスについても実施する予定です。

（参考）下水サーベイランス：<https://www.city.sapporo.jp/gesui/surveillance.html>